

発行者：公益社団法人 愛媛県鍼灸マッサージ師会
会長 浦川 武之
事務所：〒790-8032 松山市南斎院町 951-11
TEL・FAX：089(974)1219
E-mail：ehimekenshikai@e-ahaki.com
編集者：機関誌作成委員長 岡田 亮

会長あいさつ

会長 浦川 武之

時はとどまることを知りません。そして我々もそうであるべきでしょう。今年は保険の取り扱いにおいて大きな動きがありました。この動きはこれまで変革を求めて運動を継続してきた成果であります。途中で歩みを止めていたなら時間を費やしたただけとなっていたことでしょう。

そこで考えていただきたいのは全体を見ていくという考え方です。保険、無資格問題、研修会、地域健康づくり、ボランティア活動、会運営の管理、政治連盟の活動、これらのバランスを崩さない考え方が必要だと思います。学術研修会を通して資質向上を果たし、患者への信頼を向上させて、無資格問題の解決で鍼灸マッサージ師の身分回復を遂げる。そのためにもあはき師が一つとなっていく必要があると思います。あはき法のもとにもっと多くの人々が集まるべきでしょう。

今年の豪雨災害における県内のボランティア活動での他団体との協力は、大変意義のあることです。これをきっかけに大きな視野から考えて、あはき師の一本化を目指すことを考えていきませんか。全国ではすでに一本化したところもあります。ぜひ皆様のお考えと、それに伴うお知恵をお貸しください。これから先もっと団結してやり遂げ、結果のある日常にしていきたいと思います。忙しい年末ですが、体に気をつけてお過ごしください。

みんなの生活展2018 報告

事業部長 田窪 京子

10月20日(土)10時～16時、松山市大街道商店街アーケード内において、「みんなの生活展2018」が開催されました。本会からは6名の会員が参加しました。最近テレビ放映されたことで、東洋医学に興味を持ってくださるようになった方の為に、「鍼灸の効果」や「鍼灸によくある質問」をパネルにして展示しました。私たちのブースには75名の参加があり、「ツボMAP」「ゼ

ンシン体操のポスター」「療養費制度のご案内」等を配布し、なかでも「スキンタッチ」のチラシ配布の際には、歯ブラシを使う提案が喜ばれました。また、国家資格と民間資格との違いについて説明したり、東洋医学による健康相談、自分でできる運動やツボの紹介をし、セルフケアの大切さも伝えていきました。

「はり、きゅう、あん摩・マッサージ・指圧」を治療の選択肢に入れてもらうためにはどんな普及活動を行っていくべきか、これから会員の皆さんと考えていけたらと思います。

ストの更新の助けになったのではないかと確信しています。また、施術を通じて私自身反省することもありましたが、新しい発見などもあり、とても良い経験となりました。この経験をこれからの施術や次回のボランティアにも活かしていきたいと思えます。



サイクリングしまなみ2018 ケアボランティア 報告

青年女性部長・広報部長 松岡 嵐

10月28日(日)に瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2018」が開催されました。全国各地、海外からも沢山のサイクリストが参加され、計298名の方に施術をしました。

当日は午前中は曇りがちで気温の低い中でのボランティアのスタートであったため、身体の冷えからか下腿部のひきつりを訴える方が多かったです。しかし午後からは日が照り始め、ベットが不足するほど沢山の人が施術を受けに來られました。

私達の施術が幾人かのサイクリストの完走や自己ベ

平成30年度 第3回学術研修会 案内

学術部長 三谷 武

今回の学術研修会では、漢方内科医師で伊予中医学研究会の会長でもある川又正之先生をお招きし、中国における漢方の現状や、症例に基づく治効例などを踏まえ、東洋医学(中医学)の奥深いところを探り、分かりやすく解説していただきます。是非この度の研修会にも積極的にご参会いただくよう、よろしくお願い致します。

日時：平成31年1月20日(日)

9時50分～14時35分

会場：愛媛県男女共同参画センター 3階 研修室
愛媛県松山市山越町 450 番地

受付：9時30分～9時50分

開会式：9時50分～10時

演題：『未定』

講師：伊予中医学研究会 会長

漢方内科(中医学)・婦人科

海の木中医学クリニック 院長

川又 正之(かわまた まさゆき)先生

講演Ⅰ：10時～12時10分

講演Ⅱ：13時～14時30分

単位：医学教養2単位・基礎医学3単位

閉会式：14時30分～14時35分

参加費：会員 無料 / 会員外有資格者 2,000円
学生 500円

※尚、お弁当が必要な方は注文をお受けいたしますので、申し込み時に申し出てください。

お弁当(税込700円)

申込締切：平成31年1月18日(金)

申込先：(公社)愛媛県鍼灸マッサージ師会 事務局

平成30年西日本豪雨災害支援活動について 業務執行理事 佐藤 佳孝

平成30年7月3日から7日に掛けて、九州北部から中国・四国地方を中心に活発な梅雨前線による豪雨により、広島県、岡山県、愛媛県に土砂災害、洪水災害をもたらしました。大洲市、野村町、吉田町では甚大な被害となり、県内犠牲者は30名(安否不明1名、災害関連死3人を含む)となる災害でした。

平成7年の阪神・淡路大震災から国内では災害が頻発しています。被災者に、はり・灸・あん摩マッサージ指圧(以下「あはき」と記載)の資格を持つ業団が、被災者支援の活動を活発化させたのもこの頃からです。長期避難生活におけるストレス、復旧活動における疲労が体調を悪化させ、疼痛、不眠、食欲低下など様々な症状を引き起こします。その様な身体の不調を回復させるために私達の業団も「あはき」を手段としてお手伝いさせていただきました。今回、南予での支援活動をするにあたり、(公社)愛媛県鍼灸師会会員の先生方に主導していただき、「災害支援鍼灸マッサージの会えひめ」という団体名で、7月18日から支援活動をスタートさせました。本会は7月26日、8月9日、8月23日、9月6日、約100名が避難している野村小学校で支援活動を行いました。避難所の状況も分かりませんが、どのような状況にも対応できる準備をしました。避難所環境は大分整っていましたが、ダンボールベッドを備えた3メートル四方の居住スペースが体育館一杯に割り当てられているため、私達の活動は居住スペースか通路の片隅での施術となりました。壮年層の方々は復旧作業の疲れから持病の神経痛が再発、高齢者は全身の疲労感や腰痛、肩こり。16才の学生は下肢の鈍痛を訴えていました。はり、マッサージ施術を行うことで症状も緩解し喜んでいただきました。日を追うごとに避難所環境も変わりベッドを使うスペースが出来、支援活動もしやすくなりました。土曜・日曜になると受療者も12人前後と増え、県外からの施術者も応援に來ていただきました。

今、日本は自助、共助、公助が浸透していき、甚大な被害に襲われた時に各方面からの支援活動が活発に行われます。私達の団体もこの様な時には他団体と共に手を取り「あはき」を手段に支援活動に取り組んでいきます。

